

# 経営改善及び連携・活用に関する取組評価 (令和2(2020)年度)

<b>法人名(団体名)</b>	公益財団法人 川崎市看護師養成確保事業団	<b>所管課</b>	健康福祉局保健医療政策室
-----------------	----------------------	------------	--------------

## 1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

### 本市施策における法人の役割

看護師の確保を促進させるために必要な措置を講じることは、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」によって、地方公共団体の努力義務と規定されており、本市では看護職員の新規養成、定着促進及び再就業支援を柱に看護師の養成・確保に取り組んでいます。  
川崎市看護師養成確保事業団は、(公社)川崎市医師会、(公社)川崎市病院協会、(公社)川崎市看護協会との提携及び協調のもとに、主に川崎看護専門学校を運営し、准看護師を正看護師に養成する事業を行い、本市の看護職員の新規養成の一翼を担う役割を果たしています。

法人の取組と関連する計画	市総合計画と連携する計画等	基本政策	施策
		生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	医療供給体制の充実・強化
	分野別計画	かわさき保健医療プラン	

### 4カ年計画の目標

看護師養成施設運営事業として、准看護師を正看護師に養成するにあたり、川崎看護専門学校を閉校すること及び法人解散する方向性であることを踏まえて、教員の確保など現行の運営体制を維持し、閉校までの間、川崎看護専門学校の安定した運営に取り組むこと。看護職確保対策事業として、市民に看護を身近なものとして理解していただくとともに、看護職を目指す動機付けを行うため、看護に関する普及・啓発に取り組むこと。看護職資質向上事業として、実習病院の実習指導者等に対して、効果的な研修を行うこと。

## 2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和2 (2020)年度)	実績値 (令和2 (2020)年度)	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	看護師養成施設運営事業	卒業生の看護師国家試験合格率	%	100	100	100	a	A	Ⅲ
		市内医療機関等への就職率	%	55	60	80	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	68,641	128,980	127,978	1)	(1)	
②	看護職確保対策事業	一日看護体験参加者数	人	50	60	—	d	E	Ⅲ
		准看護師養成学校及び高校・中学校等への案内数	件	40	40	—	d		
		事業別の行政サービスコスト	千円	1,420	1,420	1,399	1)	(4)	
③	看護職資質向上事業	実習病院の実習指導者等研修参加者数	人	29	45	25	d	C	Ⅲ
		研修参加者の満足度(5段階評価で4以上)	%	89	93	96	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	1,318	1,318	1,274	1)	(2)	

### 3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和2 (2020)年度)	実績値 (令和2 (2020)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	入学検定料の確保	受験者数(翌年度入学)	人	22	—	—			
②	入学料及び授業料の確保	翌年度入学者数	人	15	—	—			
③	管理費コストの増加抑制	管理費コスト額	千円	9,171	9,022	8,609	a	A	Ⅲ

### 4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和2 (2020)年度)	実績値 (令和2 (2020)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	適正な業務運営	コンプライアンスに反する事案の 発生件数	件	0	0	0	a	A	Ⅲ
②	適切な業務運営	適正な監査の実施	回	1	1	1	a	A	Ⅲ

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1). 実績値が目標値の100%未満、2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4). 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【 I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

## 本市による総括

### 各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

【令和元(2019)年度取組評価における総括コメントに対する法人の受止めと対応】

個別指導等にさらに注力すること等により、看護師国家試験の合格率100%を目指すとともに、市内就職率について目標を達成するよう取り組みました。

また、学校の閉校及び法人の解散については、市及び関係団体等と綿密に連絡調整を行うなど、必要な手続きが円滑に遂行できるよう図りました。

【令和2(2020)年度取組評価における総括コメント】

看護師国家試験合格率100%を達成し、市内就職率についても目標を達成したことは高く評価できます。また、行政サービスコストについても、目標値内に収まったことは評価しています。

今後については、清算事務を円滑に行うよう望みます。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市看護師養成確保事業団	所管課	健康福祉局保健医療政策室
----------	----------------------	-----	--------------

## 2. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和2(2020)年度)

事業名	看護師養成施設運営事業
<b>計 画 (Plan)</b>	
指標	質の高い看護師を育成し、市内医療機関等に供給すること。
現状	県内准看護師養成学校の閉校により、学生の確保が難しくなっています。 卒業生の看護師国家試験の合格率は平成25年度から平成29年度まで5年連続で100%を達成しています。 また、平成7年の開校以来、卒業生の市内医療機関等への就職率は、毎年50%以上となっています。
行動計画	学生の確保に努めるとともに、引き続き、卒業生の看護師国家試験の合格率100%を目指します。 また、市内医療機関等への就職率の向上を図ります。
具体的な取組内容	学生に対する集中指導及び補習講義の実施、外部の専門講師の導入等により、国家試験の受験対策強化を図ります。 また、市立病院の担当者等から学生への病院説明や、市立病院に就職している卒業生から直接話を聞く機会を設ける等、市内医療機関への就職率向上を図ります。

## 実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連(合格率)】 学生に個別指導を実施するなど、少人数の利点を生かし学習効果を高めるよう努めました。</p> <p>【指標2関連(市内就職率)】 市内医療機関に講師の派遣を依頼し、講義の中でも医療機関の紹介をできるよう配慮しました。市立病院については、さらに紹介や質疑ができるような場を設定し、学生が市内病院に魅力を感じ、積極的に応募できるよう工夫しました。</p>
----------------	--

## 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	卒業生の看護師国家試験合格率	目標値	100	100	100	100	—	%
	説明 看護師国家試験の合格率 ※個別設定値:95(現状値の95%)	実績値		100	100	94	100	
2	市内医療機関等への就職率	目標値	55	60	60	60	—	%
	説明 市内医療機関等への就職率	実績値		61	63	80		
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2 に対する達成度		a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

コロナウイルス感染症の影響により、一時休校や一部の実習の中止等により、カリキュラムの遂行に苦慮しましたが、個別指導の実施等により合格率は目標を達成しました。また、市内就職率については、少人数であることの利点を活かし、各学生と市内就職について対話する機会を増やすことによって、目標値を上回ることができ、成果を上げることができました。

本市  
による評価

区分	区分選択の理由
<b>達成状況</b> A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>A</b> 学生数が少数であったことを活かし、それぞれの学生に接する機会をより増加したことによって、合格率、市内就職率とも目標を達成し、本市の看護師養成・確保に貢献したため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	68,641	78,085	80,636	128,980	—	千円
	説明 直接事業費ー直接自己収入	実績値		78,278	80,216	127,978		
行政サービスコストに対する達成度		1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					

### 法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により病院等での実習が一部中止となり、旅費交通費及び諸謝金等の実績額が減少したほか、消耗品費等の経費削減に努め、行政サービスコストが目標値を下回りました。

本市  
による評価

区分	区分選択の理由
<b>費用対効果</b> (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価) (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	<b>(1)</b> 行政サービスコストが目標値の範囲内に収まったほか、本市施策推進に関する指標の看護師国家試験の合格率及び市内就職率についても、取組の結果、目標を達成したため。

## 改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	<b>III</b>

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市看護師養成確保事業団	所管課	健康福祉局保健医療政策室
----------	----------------------	-----	--------------

## 本市施策推進に向けた事業取組②(令和2(2020)年度)

事業名	看護職確保対策事業
-----	-----------

### 計画 (Plan)

指標	市民に看護を身近なものとして理解していただくとともに、看護職を目指す動機付けを行うこと。
現状	毎年開催している「一日看護体験」については、看護実技体験及び進路相談等を実施しており、参加者から好評を得ています。県内の准看護師養成学校が全て閉校となったため、准看護師養成学校の学生の参加は減少することが見込まれることから、「一日看護体験」の実施について広く一般市民の参加を募る必要があります。
行動計画	「一日看護体験」については、さらに多くの方に参加いただくよう、高校・中学校等及び県外近隣の准看護師養成学校に対し、日程のPRを行うとともに、HPや市政だより等において、一般市民に広報します。また、「一日看護体験」の内容の充実を図ります。
具体的な取組内容	新型コロナウイルス感染症の状況を見極めたうえ、本事業を実施する場合は、高校・中学校及び近隣の准看護師養成学校に案内を送付し、PRを行うとともに、HPや案内チラシ、市政だより等で、一日看護体験の日程及び内容の周知を行います。また、市看護協会が主催する看護イベントに参加し、看護及び健康について広く普及・啓発を行います。

### 実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	市看護協会主催のイベントは例年5月に、一日看護体験事業は例年8月に行っており、事業の縮小開催及び延期も含め検討しましたが、ともに新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点等から取組を中止としたため、活動実績はありません。
----------------	---

評価 (Check)									
本市施策推進に関する指標			目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	一日看護体験参加者数		目標値	50	60	60	60	—	人
	説明	一日看護体験の参加者数	実績値		68	75	—		
2	准看護師養成学校及び高校・中学校等への案内数		目標値	40	40	40	40	—	件
	説明	一日看護体験参加促進のための案内 ※個別設定値:38(現状値の95%)	実績値		41	25	—		
指標1 に対する達成度		d		a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度		d							
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)									
事業の縮小開催及び延期も含め検討しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点等から中止としたことにより、実績はありませんでした。									
 本市 による評価	達成状況		<b>区分</b> A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った		<b>区分選択の理由</b> E 新型コロナウイルス感染症の影響により、取組を中止する判断をしたことはやむを得ないと考えられるが、実績がなかったため。				
	<b>行政サービスコスト</b>			目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
1	事業別の行政サービスコスト		目標値	1,420	1,420	1,420	1,420	—	千円
	説明	直接事業費－直接自己収入	実績値		1,421	1,412	1,399		
行政サービスコストに対する達成度		1)		1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上					
法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)									
新型コロナウイルスの感染拡大の状況を見極めつつ、看護協会が主催するイベントのポスター作成等、開催した場合の準備を進めていたことから、事業は中止となりましたが事業費は発生したものです。									
 本市 による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)		<b>区分</b> (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である		<b>区分選択の理由</b> (4) 事業中止により、指標の目標値を達成できなかったとともに、行政サービスコストにおいても、事業の準備を行っていたため目標値とほぼ同額の実績値となり、事業中止による削減効果も薄かったため。				
	<b>改善 (Action)</b>								
<b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性</b>	<b>方向性区分</b> I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止			<b>方向性の具体的内容</b> III 本校の閉校により、本事業による取り組みは令和2年度をもって終了となります。					

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市看護師養成確保事業団	所管課	健康福祉局保健医療政策室
----------	----------------------	-----	--------------

### 本市施策推進に向けた事業取組③(令和2(2020)年度)

事業名	看護職資質向上事業
<b>計 画 (Plan)</b>	
指標	看護師の資質を向上させるため、実習病院の実習指導者等に対して、効果的な研修を行うこと。
現状	医療の高度化、多様化に伴い看護師の資質向上が求められており、時勢にあった研修が必要となっています。
行動計画	医師会、看護協会、助産師会等と連携・協力しながら研修会の内容の充実を図るとともに、研修テーマについては時勢にあったものを取り入れて実施します。
具体的な取組内容	新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の発令に伴う休校等の影響を鑑み、当事業の実施について検討し、実施する場合は、昨年度のアンケートの結果を踏まえながら、本校教員と実習指導者のミーティングを適宜行い、研修内容の充実を図ります。

### 実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連(研修参加者数)】 例年2月頃に学校の講堂で行っている事業ですが、今年度については、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、感染防止を最優先する必要があったことから、研修参加人数を制限して開催しました。</p> <p>【指標2関連(満足度)】 新型コロナウイルス感染症に対する看護師の役割の重要度を再確認できる内容としたことで、参加者の満足度の向上を図りました。また、昨年度アンケートの結果を受け、質疑応答時間を充分にとるようにしました。</p>
----------------	--

## 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	実習病院の実習指導者等研修参加者数	目標値	29	45	45	45	—	人
	説明 研修参加者数	実績値		63	73	25		
2	研修参加者の満足度(5段階評価で4以上)	目標値	89	93	93	93	—	%
	説明 アンケートによる満足度調査の結果	実績値		95	90	96		
指標1 に対する達成度		d	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満  ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度		a						

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

研修参加者数については、新型コロナウイルス感染症対策により、人数を制限しての開催としたため、目標値を下回りました。  
満足度については、質疑時間を充分設ける等の取組の結果、目標を達成しました。

	区分	区分選択の理由
<div style="background-color: #558b2f; color: white; padding: 10px; display: inline-block; font-weight: bold;">本市 による評価</div>	<b>達成状況</b> A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>C</b> 新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者数を制限したことはやむを得ない措置であるとともに、参加者の満足度が目標を達成したことは一定の成果があったと評価できるため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	1,318	1,318	1,318	1,318	—	千円
	説明 直接事業費ー直接自己収入	実績値		1,344	1,330	1,274		
行政サービスコストに対する達成度		1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上					

### 法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

学校行事(卒業記念講演会)と合同で開催することにより、講師への講演料を抑制することができたため、目標を達成しました。

	区分	区分選択の理由
<div style="background-color: #558b2f; color: white; padding: 10px; display: inline-block; font-weight: bold;">本市 による評価</div>	<b>費用対効果</b> (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価) (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	<b>(2)</b> 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業規模を縮小したことにより指標1「実習病院の実習指導者等研修参加者数」は目標値を下回ったが、行政サービスコストは目標値の範囲内であり、指標2「参加者の満足度」は目標値を達成したため。

## 改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	区分	方向性の具体的内容
I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	III	III	本校の閉校により、本事業の取り組みは令和2年度をもって終了となります。



### 3. 経営健全化に向けた取組①(令和2(2020)年度)

項目名	入学検定料の確保
<b>計画 (Plan)</b>	
指標	入学検定料の収入確保に努めること。
現状	県内准看護師養成学校の閉校及び進学を希望する准看護師における川崎看護専門学校の現行課程に対するニーズの低下等から、入学希望者が減少しており、入学検定料についても減収となっています。なお、平成32年度末に閉校を予定しているため、平成30年度(平成31年度入学)が最後の学生募集となります。
行動計画	現状を踏まえながら、自主財源(入学検定料)の確保に努めるため、HPIによる広報や、県外近隣の准看護師養成学校に対する川崎看護専門学校のPRを積極的に行い、受験者数の確保を図ります。
具体的な取組内容	平成30年度をもって新規学生の募集を停止したため、取組はありません。

<b>実施結果 (Do)</b>	
経営健全化に向けた活動実績	

<b>評価 (Check)</b>								
経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	受験者数(翌年度入学)	目標値		22	-	-	-	人
	説明 学校の受験者数(翌年度入学対象) ※個別設定値:21(現状値の95%)	実績値	22	24	-	-	-	
指標1に対する達成度		a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載						
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	

<b>改善 (Action)</b>		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	

経営健全化に向けた取組②(令和2(2020)年度)	
項目名	入学料及び授業料の確保
計画(Plan)	
指標	安定的な学校運営を維持するために必要な入学料及び授業料の収入確保に努めること。
現状	県内准看護師養成学校の閉校及び進学を希望する准看護師における川崎看護専門学校の実行課程に対するニーズの低下等から、入学者数が減少しており、入学料及び授業料についても減収となっています。なお、平成32年度末に閉校を予定しているため、平成30年度(平成31年度入学)が最後の学生募集となります。
行動計画	現状を踏まえながら、自主財源(入学金及び授業料)の確保に努めるため、HPによる広報や、県外近隣の准看護師養成学校に対する川崎看護専門学校のPRを積極的に行い、入学者数の確保を図ります。
具体的な取組内容	平成30年度をもって新規学生の募集を停止したため、取組はありません。

実施結果(Do)	
経営健全化に向けた活動実績	

評価(Check)							
経営健全化に関する指標	目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1 翌年度入学者数	目標値		15	-	-	-	人
	実績値	15	11	-	-	-	
1 説明	学校の入学者数(翌年度) ※個別設定値:14(現状値の95%)						
指標1に対する達成度	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載						
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)							

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	

改善(Action)	
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性の具体的内容
I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	

経営健全化に向けた取組③(令和2(2020)年度)	
項目名	管理費コストの増加抑制
計画 (Plan)	
指標	事務効率化などにより、管理費コストの上昇を抑制すること。
現状	教職員の人件費増等により、管理費コストが増加傾向となっています。
行動計画	人件費の額は増加していますが、事務の効率化により、管理費コスト全体の増加を抑制します。
具体的な取組内容	消耗品の在庫管理を徹底すること等によって、管理費コストの増加を抑制するとともに、業務の効率化を図ります。

実施結果 (Do)	
経営健全化に向けた活動実績	【指標1関連(管理費コスト減)】 消耗品の在庫管理を徹底することによって、管理費コストの節減に努めました。

評価 (Check)							
経営健全化に関する指標	目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	管理費コスト額	目標値	9,022	9,022	9,022	—	千円
	説明 管理費コスト額	実績値	9,171	8,802	9,439	8,609	
指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)							
消耗品の在庫管理を徹底するなど、支出を抑制することにより目標を達成しました。							

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った


改善 (Action)	
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性の具体的な内容
I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	III 公益財団法人としては、取組は終了となりますが、清算法人において、引き続きコストの節減を図ります。

### 4. 業務・組織に関する取組①(令和2(2020)年度)

項目名	適正な業務運営
<b>計画 (Plan)</b>	
指標	コンプライアンスを順守すること
現状	コンプライアンスに反する事案はありません。
行動計画	今後についても、コンプライアンス順守を共通認識とするとともに、適切なチェック体制を維持していきます。
具体的な取組内容	教職員によるミーティング及びコンプライアンス遵守に関する研修を適宜行うとともに、適切なチェック体制を維持します。

<b>実施結果 (Do)</b>	
業務・組織に関する活動実績	【指標1関連(コンプライアンス)】 全職員による職員会議や、教職員による教員会議などの機会をとらえ、コンプライアンス順守についての理解を深め、認識の徹底に努めました。

<b>評価 (Check)</b>								
業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値		0	0	0	—	件
	説明 コンプライアンスに反する事案の発生件数	実績値	0	0	0	0		
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
コンプライアンスに反する事案もなく、適正な事業運営を行うことができました。								

	<b>達成状況</b>	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほほ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>A</b> コンプライアンスに反する事実はなく、また、研修等により職員の意識を高めたため。

<b>改善 (Action)</b>		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	<b>III</b> 公益財団法人としては、取組は終了となりますが、引き続き、清算法人においてコストの節減を図ります。

### 業務・組織に関する取組②(令和2(2020)年度)


項目名	適切な業務運営
<b>計画 (Plan)</b>	
指標	適切に監査を実施すること
現状	当法人は監事2名を配置するとともに、公認会計士を活用し、監査体制を確立しています。
行動計画	引き続き、適正な監査を実施します。
具体的な取組内容	適正な監査を行うとともに、指摘事項があった場合は迅速に対応します。

### 実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	【指標1関連(適正な監査)】 監事2名のうち1名は外部委員の税理士を登用しています。また、公認会計士に決算書類の監査を委託しており、適正な監査体制の整備に努めています。
---------------	---

### 評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	適正な監査の実施	目標値		1	1	1	-	回
	説明 適正な監査の実施	実績値	1	1	1	1		
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
引き続き、専門家による監査体制を維持していきます。								

	<b>達成状況</b>	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>A</b> 適切な監査を実施していると認められるため。

### 改善 (Action)

<b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性</b>	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	<b>III</b>

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)				
	経常収益	124,856	120,315	160,094	
	経常費用	134,296	134,915	158,614	
	当期経常増減額	△9,440	△14,600	1,480	
	当期一般正味財産増減額	△9,440	2,295	42,836	
(指定正味財産増減の部)	当期指定正味財産増減額		△16,895	△8,619	
	正味財産期末残高	170,663	156,062	190,279	
貸借対照表	総資産	224,042	225,452	194,342	
	流動資産	5,138	4,155	16,629	
	固定資産	218,904	221,297	177,712	
	総負債	53,379	69,390	4,062	
	流動負債	8,325	1,748	4,062	
	固定負債	45,054	67,642		
	正味財産	170,663	156,062	190,279	
	一般正味財産	△32,337	△30,043	12,793	
指定正味財産	203,000	186,105	177,486		
エラーチェック		OK	OK	OK	OK
本市の財政支出等(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
補助金		89,845	92,397	140,740	
委託料					
指定管理料					
貸付金(年度末残高)					
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)					
出捐金(年度末状況)		140,000	123,105	122,404	
(市出捐率)		69.0%	66.1%	69.0%	
財務に関する指標		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		61.7%	237.8%	409.3%	
正味財産比率(正味財産/総資産)		76.2%	69.2%	97.9%	
正味財産利益率(当期正味財産増減額/正味財産)		-5.5%	-9.4%	18.0%	
総資産回転率(経常収益/総資産)		55.7%	53.4%	82.4%	
収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/経常収益)		72.0%	76.8%	87.9%	

法人コメント

本市コメント

現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
看護専門学校の新設等により、収益に占める市の財政支出割合が大幅に増加となりました。なお、看護専門学校は令和2年度末に閉校し、同時に本法人も解散しました。	清算事務を円滑に進めていきます。	清算事務を円滑に進めていただきたいと思います。

(2)役員・職員の状況(令和3年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	-	-	-	-	-	-
職員	-	-	-	-	-	-

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解・理由

・今後の方向性